

今こそ賃上げ、デフレから脱却 — 2014 春季生活闘争スタート —



2月8日(土)「倉吉体育文化会館」において、『連合鳥取2014春闘開始宣言集会』を開催しました。集会には、構成産別・単組から約200人(うち女性33人・16%)のみなさんにご参加いただき、今次春闘方針を徹底するとともに意思結集をはかり、地域における闘争を展開することを確認しました。

主催者を代表して、五十嵐美知義連合鳥取会長は「職場を原点に着実な運動を進める必要がある。説得力のある交渉をして成果を得るというプロセスがない限りデフレからの脱却はない。そういった意味で今春闘は労働組合の力量が試され、労使の社会責任が問われる闘いになる。連合鳥取に集う構成組織が一体となって今春闘で賃金の引き上げ、特に、今年は月例賃金の引き上げを勝ち取るために頑張りあいたい。」と今春闘にかける決意を述べました。

続いての講演では、連合本部から安永貴夫副事務局長を講師として迎え、「2014春季生活闘争の意義と連合の取り組み」と題し、賃金・所得の現状、非正規労働の現状、春闘方針のポイントと、労働法制改悪への連合としての対応について講演をいただきました。

そして、連合鳥取田中事務局長から「連合鳥取2014春季生活闘争方針・具体的な取り組み」について説明が行われました。その中で「定昇・賃金カーブ維持相当分の3,800円を確保したうえで、過年度物価の上昇・生産性向上分なども考慮して1%(2,200円)以上のベースアップを求めること」と、「また『必要に応じて格差是正・配分のゆがみの是正分を1%(2,200円)も求めること』とする。『非正規労働者の処遇改善に向けて時給にして30円を目安に賃金の引き上げを求めること』、「仕事と生活を調和させるワーク・ライフ・バランス実現を求めていくこと」を確認しました。

続いて質疑応答に入り、「労働法制改悪に伴う県内での行動は？」との質問があり、田中事務局長は「4月5日(土)に300人規模での鳥取県集会開催を計画中」と答弁しました。

「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」4.5 鳥取県集会

～働く者の使い捨ては許さない! 連帯の力で「安心社会」を切り拓こう!～

- 日時 2014年4月5日(土) 10時～12時30分
- 場所 県民ふれあい会館(鳥取市扇町)
- 規模 300人
- 内容
 - ①主催者代表あいさつ ②民主党県連からの連帯あいさつ
 - ③講演「労働規制問題の現状」(講師/連合本部 神津里季生事務局長)
 - ④2014春季生活闘争情勢報告と労働相談事例報告
 - ⑤アピール採択 ⑥団結がんばろう(デモ行進)



その後、引き続き、山田連合鳥取副事務局長が「闘争開始宣言(案)」を力強く提案し、満場一致で採択され、連合鳥取全構成組織が結束し「闘争方針」に沿って闘争を展開することを誓い合いました。

本集会最後に、五十嵐会長の音頭で、今次春闘勝利に向け参加者全員で『団結ガンバリ』を行い、2014春闘をスタートしました。

2014春季生活闘争特集

経営者団体との意見交換会



左/経営者協会 右/連合鳥取



連合鳥取参加役員

2月5日(水)、対翠閣(鳥取市)で2014春季生活闘争に関する「2014鳥取県経営者協会・連合鳥取意見交換会」を開催しました。

連合鳥取から五十嵐美知義会長、3人の副会長他4人の役員が出席し、経営者協会からは宮崎正彦会長他7人の各団体代表者が出席しました。

連合鳥取は、今次春闘での賃金引上げなどについて説明を行い、労使双方が活発な意見を交わしました。五十嵐会長は「アベノミクスによる経済は全体的に好循環で景気は上向いている。従業員の基本給を上げることで個人消費を伸ばし経済の活性化に繋げる必要がある。」と述べました。それに対し、宮崎会長は「安倍政権の経済政策は県内においてはまだおよんでいない。中小零細はやっと赤字幅が減ってきているというのが実態である。」と発言があり、賃上げについては慎重な発言にとどめました。

全国一斉労働相談ダイヤル

連合は、民間・公務の職場を問わず、パート、契約社員、派遣社員、臨時・非常勤職員など非正規雇用で働く労働者の雇用や処遇の問題に取り組むことが必要であると考えています。

特に、年度末は有期契約労働者の解雇や雇い止めのトラブルが多いため、2月5日(水)～7日(金)の3日間、各地方連合会が「全国一斉労働相談ダイヤル」を実施し、全国で978件の相談が寄せられました。昨年同時期に実施した全国一斉相談と比べると40～60才からの相談が増加しました。

連合鳥取も、東部・中部・西部地協の各事務所で相談体制を整え対応するとともに、この度はNHK鳥取放送局のローカルニュースでも紹介されたことから、「解雇」「嫌がらせ」「サービス残業」などについて3日間で8件の相談電話がかかってきました。



NHKの取材を受ける田中事務局長



東部地協

各地協 産別・単組代表者会議で確認

2014春季生活闘争の周知・徹底を図ることを目的に、各地協で「産別・単組代表者会議」を開催し、全県で140人(うち女性9人)の参加がありました。会議では、連合鳥取役員が「連合鳥取春闘方針」を説明するとともに、「3.7統一行動2014春季生活闘争総決起集会」や「街宣活動」など具体的な取り組みについても、それぞれの地協役員が提案し、参加者全体で確認をいただきました。



《東部地協》
2月14日(金)/白兎会館



《中部地協》
2月18日(水)/倉吉体育文化会館



《西部地協》
2月17日(月)/弓ヶ浜荘

東部地協では、推薦支持議員5人にも参加いただき、2014春季生活闘争方針についての理解を深めていただきました。

中部地協では「倉吉市への政策・制度要求を提出(2014.2.5)」の報告や、「組織強化・拡大」「メーデー大会」など当面の取り組みについても確認されました。参加者からは「単組でも労働法制改悪の動きについて学習しているが、より広く知らしめるためにも中部での大衆行動(集会)を行ってほしい」と積極的な意見も出されました。あわせて、連合鳥取推薦議員の5人からも日頃の活動報告をいただき、組合員との共通認識を図りました。

また、西部地協では、「高年者雇用安定法と年金結合の問題点」についての学習会も行いました。

2014春闘の
ポイント

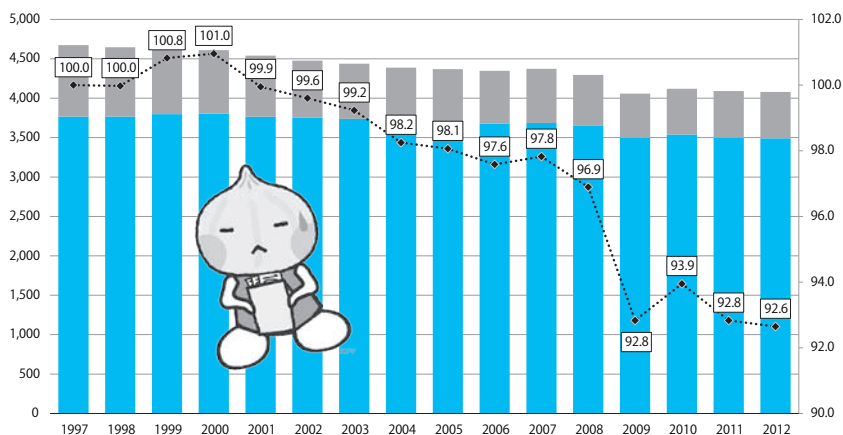
連合は月例賃金にこだわった春闘を闘います

平均給料・手当、平均賞与の推移

■賃金・所得の低下

働く人にとって最も大事な賃金水準は、1997年をピークに低下の一途をたどり、物価下落以上の低下による生活水準の低下を招いています。

平均給料・手当 (左目盛り、千円)
平均賞与 (左目盛り、千円)
平均給料・手当(1997=100,右目盛り)



月例賃金とは

基準内賃金 (基本給・職能給など) + プラス
基準外賃金 (残業手当など)

これにボーナスなどの「一時金」を加えたものが年収です。

月例賃金にこだわる理由

一時金はあるまでその年の一時的なものに過ぎず、働く人の月々の生活を支えるための「賃上げ」としては不十分との認識から、連合は「月例賃金」のアップを強く要求しています。

◇3.7統一行動 2014春季生活闘争総決起集会

近頃の集会に参加して「2014春闘」を盛り上げよう!!

■開催日2014年3月7日(金)

地域	開会時間	会場	デモ行進
東 部	18:00~	JR鳥取駅前風紋広場	敬愛高校前まで
中 部	18:30~	倉吉体育文化会館前広場	JR倉吉駅前まで
西 部	18:15~	米子市文化ホール前	公会堂交差点まで

※詳しくは各地域協議会事務局までお問い合わせください。

- ・東部地協 TEL/0857-26-6605
- ・中部地協 TEL/0858-23-7205
- ・西部地協 TEL/0859-23-2030



【活動にあたって】

- ①チェックポイントは、職場点検活動を行う際に最低限チェックすべき、ワークルールに関する基本的事項をまとめたものです。点検にあたっては、ワークルールのポイントを解説した連合作成の「知っ手帳」などを参照してください。〈連合鳥取HP掲載〉
- ②チェックポイントは、法令などで定められている最低限のものが中心となっています。このチェックポイントをクリアしたうえで、より良い職場環境や労働条件をめざしていくことが労働組合の役割です。連合や構成組織などが掲げる目標の達成をはかりましょう。

あなたの職場は大丈夫??

←チェックボックス

2014春季生活闘争
職場点検活動のポイント

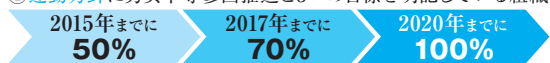
非正規労働者のワークルール	POINT1 雇止めなどのトラブルはない。また、違法な派遣・請負はない	POINT7 配置や仕事の与え方、教育・訓練の機会、昇進・昇格に、男女間で差がない
	POINT2 1年超の派遣社員の受け入れにあたって、労働組合への意見聴取が行われている	POINT8 妊産婦保護制度が使いやすく、育児・介護休業を取得できる環境が整っている。また、マタハラなどの防止が行われている
	POINT3 年次有給休暇の取得のルールが周知され、運用も適切に行われている	POINT9 パワハラ、セクハラなどハラスメント防止の取り組みが行われている
	POINT4 すべての従業員に労働条件が書面で明示されている	POINT10 労働時間管理が適切に行われ、不払い残業はない
	POINT5 有期労働者と無期労働者との間の労働条件に、不合理な格差がない	POINT11 三六協定および特別条項は適切に締結・運用されている
雇用	POINT6 希望者全員の65歳までの雇用が確保できている	POINT12 研修・教育の充実も含め、きめ細かなメンタルヘルス対策が行われている
		POINT13 安全衛生委員会などを通じ、安全第一の姿勢が職場に浸透している。また、労働災害発生の際には、再発防止対策が労使で行われている

ご存知ですか? 「連合鳥取第3次男女平等参画推進計画」①

■連合鳥取として、具体的かつ達成度を客観的に判断できるよう「数値目標」を設定し、その達成をめざして取り組みを進めていきます。

◇ 3つの目標の達成度をはかるための「数値目標」

①運動方針に男女平等参画推進と3つの目標を明記している組織



②産別・単組における女性役員を選出している組織



③連合鳥取の執行委員・機関会議の女性参画率



連合鳥取は「様々な生き方が実現できる平等な社会」をめざし、「第21回定期大会(2013.11.22開催)」で「連合鳥取第3次男女平等参画推進計画」(期間/2013年11月~2020年10月)を確認しました。

- ①産別・単組の運動方針に3つの目標の取り組みを明記している組織を、左の計画で進め、2020年までに100%をめざす。
- ②産別・単組で女性役員を選出している組織を2017年までに50%とし、2020年までに100%をめざす。
- ③連合鳥取の役員・機関会議の女性参画率を、2020年までに30%をめざす。



連合のゆるキャラ
ユニオニオン

境港市議会議員選挙結果

2月9日(日)、境港市議会議員選挙が実施され、連合鳥取が推薦した松本熙さん、
 柊康弘さんは当選されました。
 組合員のみなさまのご支援に
 心より感謝いたします。

当選 松本 熙 (日教組) 979票 (推薦)

当選 柊 康弘 (民主党) 736票 (推薦)



松本熙さん



柊康弘さん

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合古賀会長とニューリーダーの直接対話(KNT47)

◇3月15日(土)14時00分～16時00分／米子ワシントンホテルプラザ
 連合古賀会長が全都道府県に出向き、将来の労働運動を担う地域の若手組合
 リーダー(青年委員会役員&女性委員会役員)に向け、連合の活動や自身の労働
 運動への思いを直接伝え、地域の若手組合リーダーが抱える課題や労働運動に
 対する思いを吸い上げ、連合の活動に活かすための対話会を実施します。

労働・福祉事業4団体合同研修会

◇3月27日(木)10時00分～12時15分／全労済鳥取県本部 大会議室
 講演① 「お天気の話(仮称)」
 講師/藤田 友香さん(NHK鳥取放送局気象予報士)
 講演② 「おもてなしのこころ(仮称)」
 講師/山脇 彰子さん(CSアドバイザー(元ANACA))

3.8国際女性デー〈学習会&街宣行動〉 ◇女性委員会独自で初の「3.8国際女性デー」行動を実施!◇

◇3月8日(土)／鳥取県労働会館2F会議室

【受付開始】9時45分

【開会】10時00分

□講演

「3.8国際女性デーの歴史と意義～

女性も男性も活躍できる社会のためには～」

講師/連合男女平等局長

曾根崎 義治氏

□街宣行動(11時30分～)

JR鳥取駅周辺でデモシュ配布

□昼食懇親会(～13時30分まで)

3.8国際女性デーとは

「3.8国際女性デー」は、1857
 年3月8日にニューヨークで起きた
 工場火災で、多くの女性たちが亡くなったことを
 受け、3月8日に低賃金・長時間労働に抗議する集
 会が開かれたことが起源です。
 その後、国連においてこの日は、「女性の権利と
 平等のために闘う記念日」と位置づけられました。
 シンボルの「パン」は「貧困・労働条件の向上」
 「バラ」は「女性の尊厳・人権の確保」を表わしていま
 す。この「パンとバラ」を掲げ、世界各国で様々な
 行動が展開されています。



“ザ・議員”

中田 利幸

米子市議会議員

連合に結集する組合員のみなさんの日ごろの活動に
 対し、心より敬意を表します。

議員になって4期、この間、安心して働き、「元気」と
 「優しさ」を感じる生活の実現を基本に据えて、都市機
 能、教育・子育て、地元経済の活性化と雇用など取り組
 んできました。

議員活動以外にも様々な課題をもつ子どもたちとの
 スポーツ・武道などの活動にも取り組んでいます。

さて、議員として誰の立場の代表として課題に取り
 組むか、そこが肝心だと思います。まさに、組織内議員
 として、危険な国の動向に対し、地方から突き上げる事
 が肝心です。何卒、
 よろしく願い申し
 上げます。



青少年へ
 スポーツチャンバラの
 指導を行っています

伊藤 ひろえ

米子市議会議員

本年6月施行予定の米子市議会議員選挙にあたり、昨
 年12月、連合鳥取より推薦決定をいただき心より感謝申し
 上げます。

米子市議選においては、子育て支援(保育料の軽減、待
 機児童解消)、若者の安定雇用の促進を重点施策として闘
 ってまいります。私はDV被害者支援、東北支援、ブナの植
 林、中海浄化などの活動を行いながら多くのことを学ばせ
 ていただきましたし、素敵な仲間との出会いが私の活力に
 なっています。

これからも、社会的弱者といわれる方々の立場や、市民
 の目線に立って「安心して子どもを生み育てられる米子市」
 をめざし精一杯の努
 力をするをお誓
 いしメッセージとい
 します。



平成18年より
 交通安全指導員として
 毎日子どもたちの
 通学を見守っています



(まだまだ小僧)

やっぱ「行先不透明」
 3・11大震災以降「絆」が大切
 にされてきた。方で「無縁」という
 言葉に象徴されるように、「貧困
 と格差」が広がった。医療、福祉
 教育など社会のあらゆる分野にお
 たつて、社会的セーフティネット
 が崩れ、格差が生れ、拡大し、貧困
 という厳しい現実が取り巻いてい
 る。格差と貧困の拡大を自己責
 任だとして切り捨て、官と民、
 正規と非正規、高齢者と若年層な
 どの間に楔(くさび)を打ちこみ、
 対立を煽って既得権を奪い、恵ま
 れた環境の人の利益を奪うことに
 よつて、いわば下に向かつての平
 化をどんどん進めている。貧富とい
 うようなものではなく、生きられ
 る者と生きられない者とを振り分
 けていくような格差だ。ある本で
 こんな文章を目にした。「狂気に満
 ちた時代に正気を保つた。それは簡単
 ではありません。ましてや、個人で
 はどうすることもできない空気の
 ようなものがあります。後で冷静
 になって考えれば、何故あのような
 流れを拒否できなかったのかと思
 議に思えるような流行病に侵され
 る時代がある。▼戦前同様、そんな
 ことにはしてはならないと思う。高
 い支持率を背景に、「強引にわが
 道を進む」現政権にたいして警戒
 しなければならぬ。自分勝手な
 正義を押しつける
 など言いたい。
 信頼できる
 リーダーが現
 れることに期
 待をしたい。
 (まだまだ小僧)

てんぐんぐんぐん



再生紙を使用しています